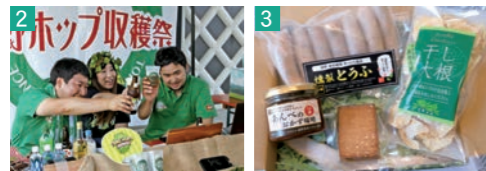


# キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。



1\_上西さん(左)と株式会社BrewGood代表の田村さん 2\_中止になった収穫祭をオンライン開催 3\_ビールと一緒に届けられた地場商品 4\_遠野市のふるさと納税返礼品には、とれたてホップ限定BOXも 5\_ビールの里プロジェクトに関わる21人にインタビューした冊子とWEB版QRコード

11月上旬から予約受付開始

**遠野風の丘との連動企画「TONO HOP BOX」第3弾**

HOPBOX第3弾は、遠野冬のギフト「遠野味紀行」で販売します。詳しくは、遠野風の丘オンラインショップで確認ください。

■内容 ▷フレッシュホップビール3本▷遠野牛▷わさび▷厚切りラム など  
■価格 7,700円(税・送料込み)  
※全国配送できます  
※11/25以降、順次発送

Q 今後の取り組みについて  
ホップ・ビールに限らず、遠野全体が運動するまちづくりがプロジェクトの目指す姿です。今はHOP BOXですが、いずれは遠野の風景で彩った、遠野のさまざまな魅力を詰め込める「TONO BOX」の構想を実現したいです。HOP BOXはその挑戦でもありません。市民の皆さんが誇りに思ってくれるような企画やクリエイティブの力で、遠野の魅力を全国に発信していきたいと思っています。

■取り組みへの問い合わせは…市六次産業室へ(☎62-2111内線442)

Q 移住後の活動状況  
ホップとビールを起点にしたまちづくり「ビールの里プロジェクト」を進めるプロジェクトリーダーとして、株式会社BrewGood代表(田村淳一代表)で活動。応援してくれる関係人口を増やすために必要な動きを考え、企画・実行しています。

Q TONO HOP BOXについて  
コロナの影響で店頭販売が難しく、外販強化が課題でした。打開策として考えたのが「TONO HOP BOX」。ホップやビールの写真でデザインした箱に

## 「コロナ禍の打開策 TONO HOP BOXに込めた思い」

上西 尚宏 北海道旭川市出身・48歳(2018年9月着任)

遠野のビールとおつまみになる地場商品などを入れて販売しています。

Q TONO HOP BOXに込めた思い  
コロナ禍で苦しんでいるのは自分たちだけでなく、市内事業者も同じ。頑張っている人たちがたくさんいます。

HOP BOXで何かできないかと考え、企画したのが地場商品とのセット販売。ビールのおつまみになるアレンジメニューを添えて販売しました。また、ホップ収穫祭の中止を受け、市外に住む人たちにも産地・遠野を届けたいと考えてい

# 遠野人

★筆者 前川 さおり

遠野文化研究センター副主幹。1970年山形県生まれ。遠野テレビ「遠野まつり」実況、「クイズ遠野ふしぎ再発見」の司会でおなじみ。



遠野文化研究センターの活動に興味を持っていただけるような情報をお届けしています。今月は9月に開催した遠野文化フォーラムについてです。



佐々木喜善賞の受賞者

9月26日に市民センター大ホールで開催された「遠野文化フォーラム～遠野物語映画祭への道」について紹介します。今年『遠野物語』発刊110周年記念

イベントでしたが、急きょ新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客で開催しました。

第一部「佐々木喜善賞」授賞式では、遠野をテーマにした自由な創作表現の応募作品105点から、①松山真一さん(大阪府)の論文「遠野郷の9日間～佐々木喜善、伊能嘉矩、そしてニコライ・ネフスキイ」②北林佐和子さん(大阪府)の小説「老人性座敷わらし」③山崎安奈さん(山形県)「山伏御大事・オシラサマ」が受賞しました。また今回特別に奨励賞を石橋直樹さん(神奈川県)の論文「ザシキワラシ考」、家族賞を坊垣香理さんご一家(岐阜県)の絵画が受賞しています。これらの作品は「文化フォーラム報告書」(令和3年3月刊行予定)で紹介されます。



第二部の司会を務めるあがいん直さん(左)と審査員代表の新井卓さん

第二部は、佐々木喜善賞応募作品映像から①立花紘さん(遠野市)「舟っこ流し」②成清祐太さん(東京都)「夜の映画～遠野フィルム」を招待上映したほか、遠野市が昭和49年に制作した「民俗のふるさと遠野」を上映しました。

第三部は市民から募集した「遠野のたからもの動画コンテスト」の授賞式が行われました。最優秀賞を阿部満穂子さん「遠野のたからもの探してみた!」、優秀

賞を①立花紘さん「遠野へようこそ」②山岡謙志さん「当たり前が宝物」、審査委員特別賞を猫村ネコトセさん「ヨルノオト」が受賞しました。特別司会を遠野ゆかりのお笑い芸人・あがいん直さんが務めました。



映像の可能性について意見が交わされたシンポジウム

第四部は、「遠野物語映画祭への道」と題して、招待映像作家の立花紘さん・和子さん夫妻と成清祐太さん、遠野文化研究センター研究員で、「オシラ鏡」で第72回サレルノ映画祭短編部門最高賞を受賞した新井卓監督、赤坂のりお憲雄遠野文化研究センター所長によるシンポジウムを開催。これからの映像文化と遠野の可能性について語り合いました。

遠野文化フォーラムの様子や招待作品映像の一部、動画コンテスト受賞作品は、動画配信サイト「YouTube」に設けた『遠野物語』発刊110周年記念チャンネルである「遠野物語110チャンネル」で公開しています。ぜひご覧ください。

★語り部募集中!

### 遠野のこだわりを語る「語り部」を募集します!

遠野の★昔話(3話)★歴史★食★郷土芸能★生業-のいずれかについて語れる人を認定する「語り部1000人プロジェクト」では、新たに「語り部」になりたい人を募集しています。詳しくは、問い合わせください。

- 審査方法 認定委員の前で語りを披露
- 日時 11月～令和3年1月までの火曜～金曜で、都合のつく日時の30分程度
- 場所 遠野市立図書館など(出張認定可)

★申し込み 市文化課TEL:62-2340(内線335)

★問い合わせ:遠野市東館町3-9(遠野市立博物館内)/TEL:62-2340/FAX:62-5758/MAIL:tono100@city.tono.iwate.jp